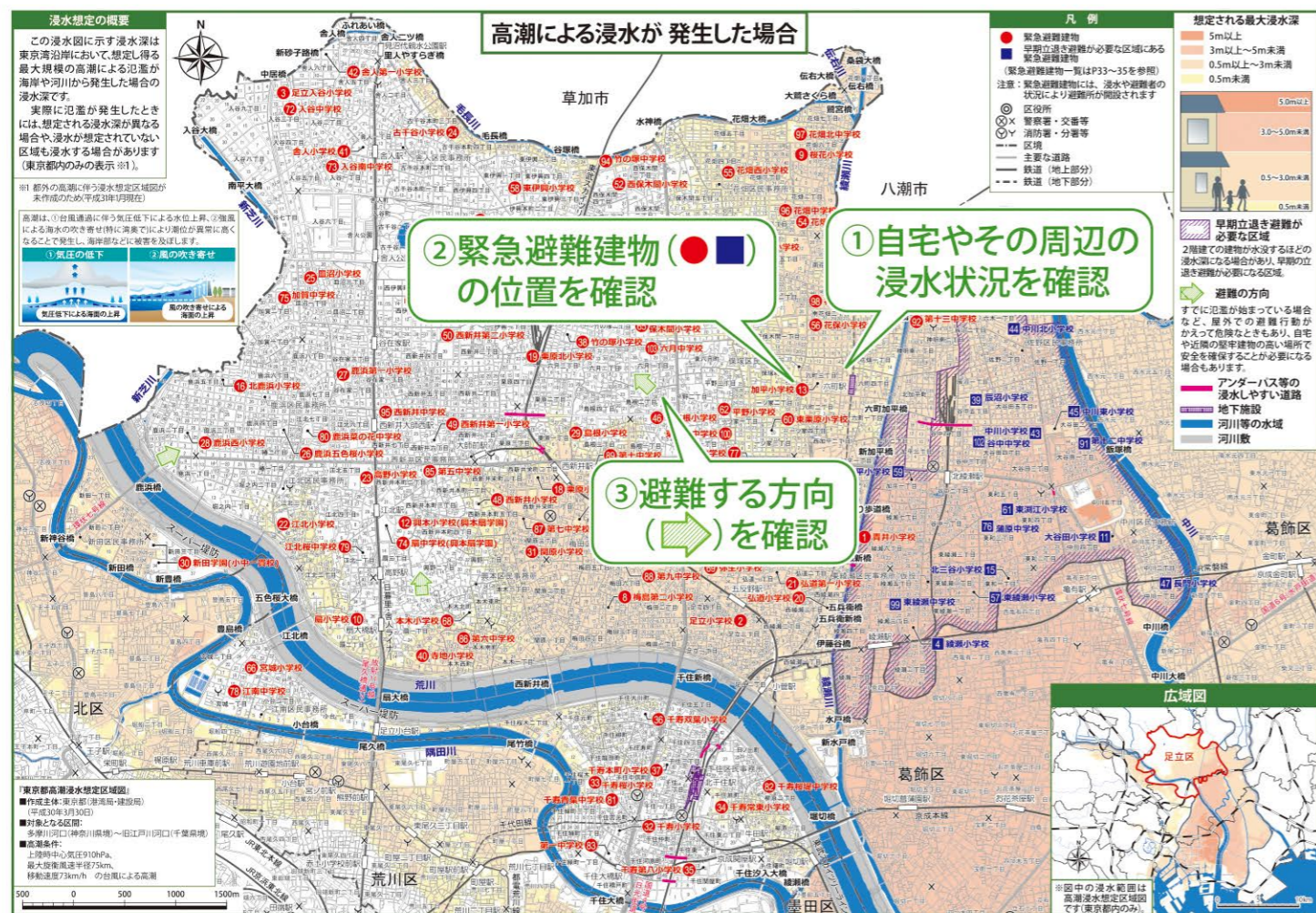


● ハザードマップの見方・使い方 ●

ハザードマップは以下の順番で確認しましょう。



ハザードマップの使い方

- ① 自宅等周辺の浸水の深さを浸水想定区域図で確認しましょう。
- ② 浸水がどれくらい続くのかを確認しましょう。
→P5~32【浸水想定区域図・浸水継続時間】参照
- ③ 避難のタイミング、避難の仕方、避難経路、避難先を、災害(河川)ごとに確認しましょう。
※避難所は、浸水状況等を踏まえて開設されます。
→P2, 33~35, 36~38 参照
- ④ 非常持出品・備蓄品の準備、風水害に備えた自宅周辺の点検などをしましょう。
→P39・40、裏表紙 参照
- ⑤ 避難情報、災害情報の入手先を確認しましょう。
→P41・42 参照
- ⑥ 家族との連絡方法について、事前に決めておきましょう。
→裏表紙【避難行動メモ】参照



● 大規模水害が発生したら ●

■ 広域避難とは

広域避難とは、区外の標高が高い地域や浸水のおそれがない地域へ避難することです。
荒川と江戸川が同時に氾濫するような大規模水害が発生すれば、江東5区(足立区、墨田区、江東区、葛飾区、江戸川区)のほとんどが浸水し、2週間以上にわたって浸水が続く地域もあります。
江東5区内で避難が必要な人は約250万人と推定され、区内にとどまり孤立すると、衛生的にも精神的にも大きな負担になります。
あなたと家族を守るため、江東5区から避難情報が発令されたら、広域避難してください。
※広域避難先の災害情報(水害、土砂災害等)にも注意してください。



■ 江東5区で発令する避難情報

大規模水害が起きる可能性がある場合には、江東5区共同で水害の発生が想定される72時間前(3日前)から避難情報を発令します。

- 72時間前 (3日前) …… 共同検討開始**
江東5区が共同で、大規模水害への対応について検討します。
 - 48時間前 (2日前) …… 自主的広域避難情報を発表します**
広域避難勧告を発令する前に、自主的な江東5区外の安全な場所への避難を呼びかけます。
 - 24時間前 (1日前) …… 広域避難勧告を発令します**
区長が、江東5区外の地域への避難を勧告します。
 - 9時間前 …… 域内垂直避難指示(緊急)を発令します**
広域避難をする時間的な猶予がないと判断した際に、垂直避難行動をとるように区長が指示を出します。
- 氾濫発生** 大規模水害発生後、浸水しなかった地域の住民は、速やかに帰宅してください。

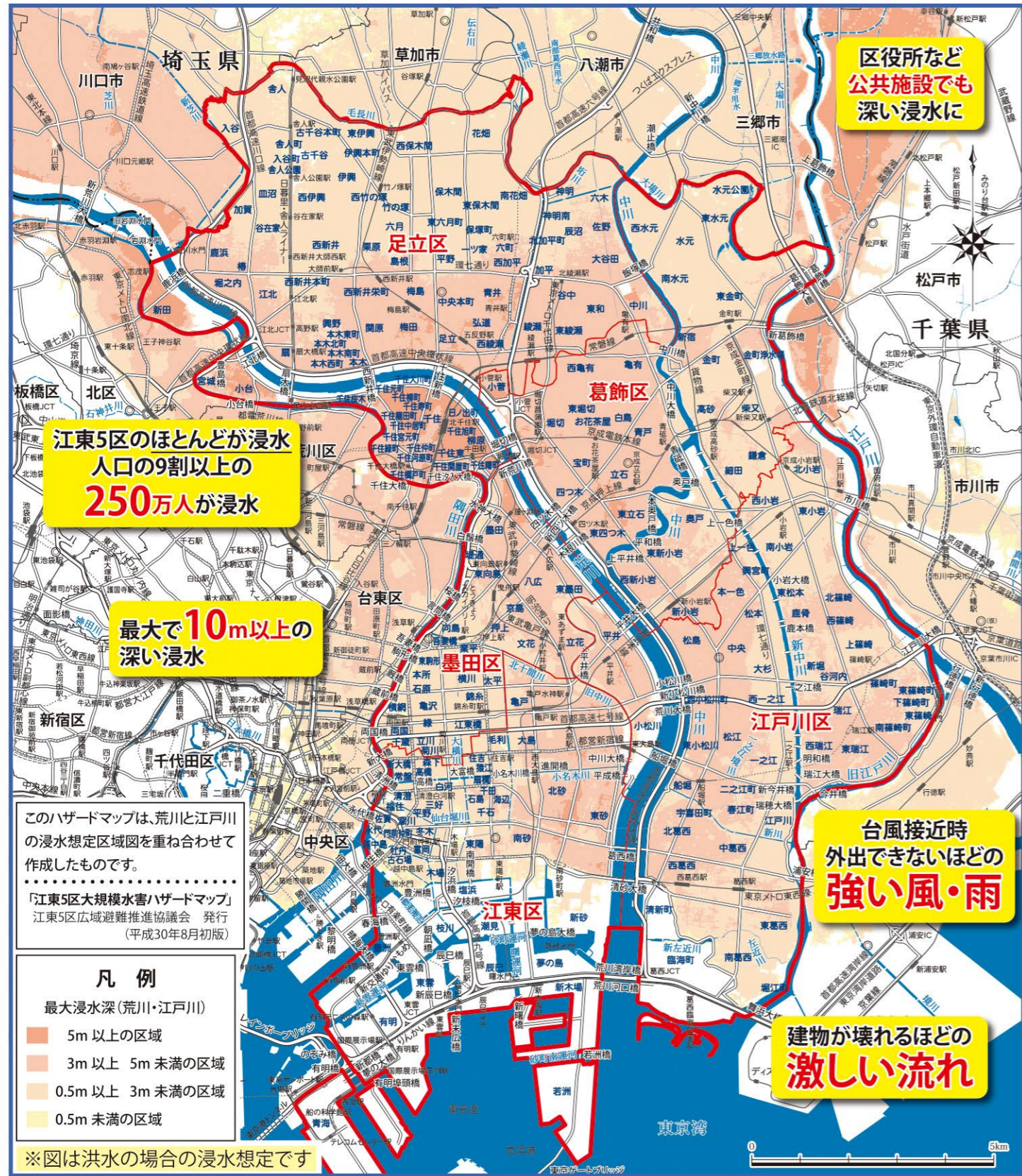
江東5区では、非浸水地域の自治体と避難の受け入れについての協議を進めていますが、具体的な避難場所はまだ特定できていません。避難場所を開設できたとしても限りがあり、また、混雑してプライバシーを確保することも難しいと考えられます。そのため、早めに浸水しない地域の親戚・知人宅やホテル、民宿、勤務先などの避難先等に避難しましょう。



江東5区外の親戚・友人宅等の避難先の確保をお願いいたします。

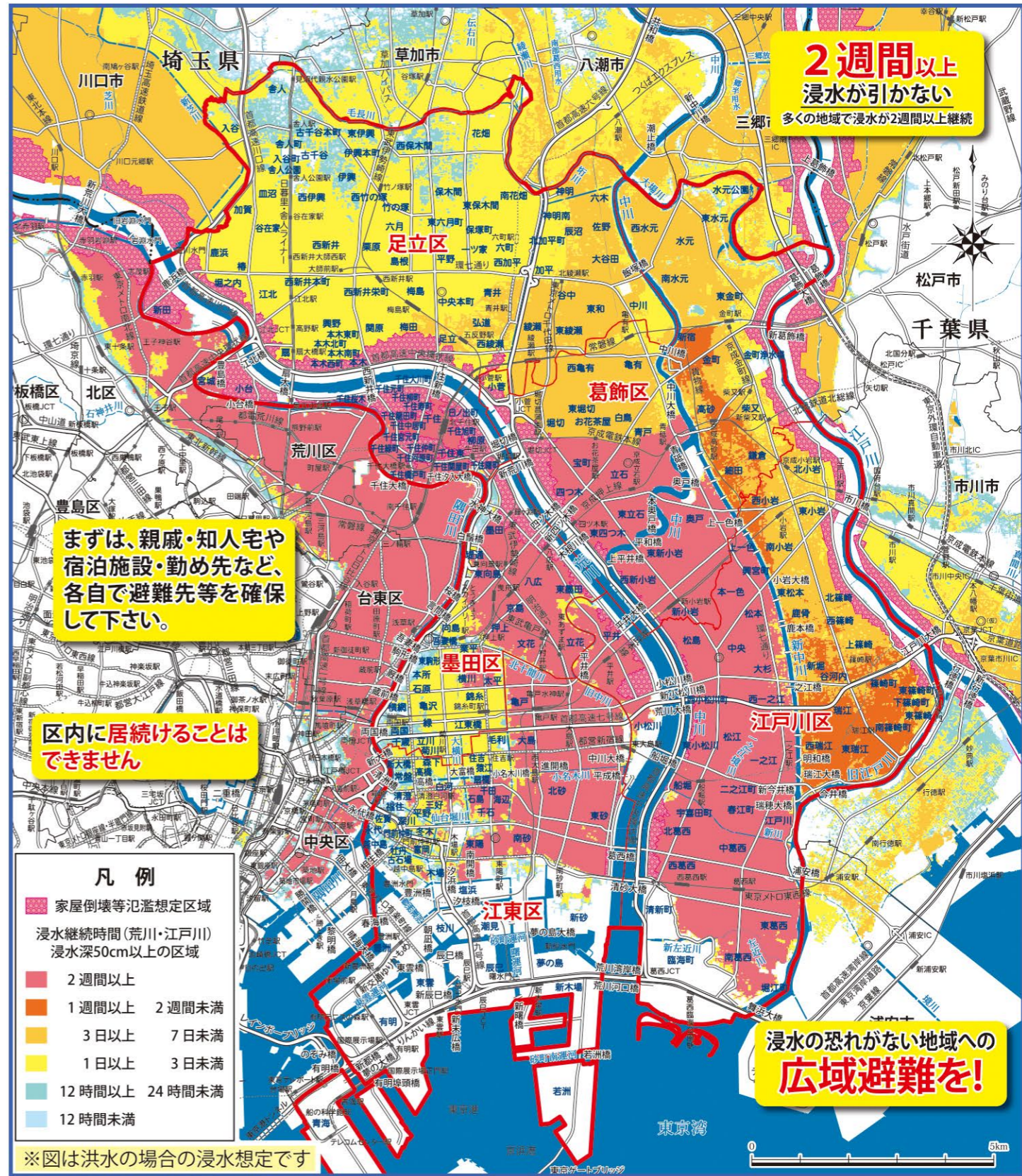
● 荒川と江戸川が同時に氾濫した場合 ●

■ 浸水の深さ



大型台風などが接近したときは、外出できないほどの強い雨や風が予想されます。河川が氾濫すると、浸水の深さが約10mになる地域や、氾濫流により家屋の倒壊・流出のおそれがある区域もあります。区役所などの公共施設も深く浸水することが予想されます。

■ 50cm以上の浸水が続く時間



浸水想定区域の居住人口が膨大であるため、多くの人が浸水区域内にとどまると、すべての人を救助するには長時間を要します。また、2週間以上浸水することも想定されるため、住まいや区内の避難建物に居続けることは困難です。